

神奈川県横浜市に危険物倉庫を開設

当社が建設を進めておりました神奈川埠頭倉庫営業所が竣工し、2023年9月4日より営業を開始いたしました。

この施設は危険物（消防法第四類）を中心に、高圧ガスや毒劇物など多種多様な品目の取扱いが可能な施設で、アクセスも良く、輸出入拠点として最適な立地です。

当社は、この施設を「京浜地区における危険物の新たな輸出入拠点」として位置付け、今後ますます高まることが予想されるケミカル物流のニーズに応えてまいります。



名称：「神奈川埠頭倉庫営業所」
所在：神奈川県横浜市神奈川区恵比須町9番7
施設内容：危険物倉庫5棟、高圧ガス倉庫2棟、普通品倉庫1棟、一般取扱所1棟
建物構造：鉄骨造平屋建（危険物倉庫、高圧ガス倉庫）、鉄骨造2階建（普通品倉庫）
敷地面積：21,389.95m²
保管面積：8,572.86m²
営業開始：2023年9月4日

モビリティのEV化に対応した物流センター（栃木県芳賀郡芳賀町）の建設工事に着手

2023年7月20日に芳賀物流センター（仮称）の建設に着工し、2024年11月の営業開始に向け準備を進めております。

この施設は、モビリティのEV化に対応した物流の拠点として企画・建設されるもので、バッテリーの管理を含む温湿度管理・急速充電・充放電機能を有しています。

当社は、この施設を「北関東地区における中核拠点」として位置付け、今後ますます高まることが予想される次世代モビリティ物流のニーズに応えてまいります。



名称：「芳賀物流センター」（仮称）
所在：栃木県芳賀郡芳賀町大字下高根沢4676番2
施設内容：平屋建 普通倉庫
敷地面積：46,180.53m²
延床面積：24,534.10m²
開業予定：2024年11月

会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 株式会社日新
設立 1938年12月14日
資本金 60億9,726万3,500円
本店所在地 横浜市中区尾上町六丁目81番地
ニッセイ横浜尾上町ビル

ホームページのご案内 <https://www.nissin-tw.com/>



最新の情報は当社ホームページでご覧いただけますのでご利用ください。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.nissin-tw.com/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

各種手続のお申し出先

- 未受領の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたしております。
ホームページアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

第115期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



横浜交易西洋人荷物運送之図 五雲亭貞秀（神奈川県立歴史博物館所蔵）

株主のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
 当社第115期第2四半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の営業の概況をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

当社は、当社グループの強みである海外ネットワークと国際物流を活かした新たなビジネスモデルを、グループ一体となって創出し続けることで、更なる飛躍と持続的成長を目指してまいります。

当年度の中間配当金につきましては、1株当たり50円とし、本年12月5日を支払開始日とさせていただきます。

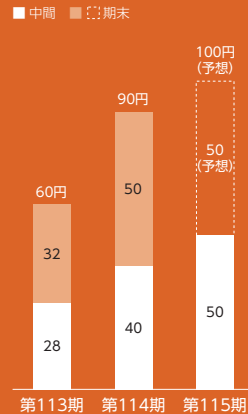
株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

筒井 雅彦



1株当たり配当金



営業の概況

当第2四半期の経営成績の概況

1. 当第2四半期の経営成績

当第2四半期の世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や、中国の景気回復の遅れなど、先行き不透明な状況が続きました。わが国においては、個人消費の持ち直しが続くなど、緩やかな回復となりました。

このような状況下、当社グループは第7次中期経営計画2年目に入り、グループ丸となり取り組みを進めております。物流事業においては、前期の海上、航空運賃高騰の反動減の影響や、取り扱い物量が伸び悩みましたが、倉庫業務は堅調に推移しました。旅行事業では業務渡航の取り扱いが回復基調が継続し、団体関係の取り扱いも堅調となりました。

これらの結果、当第2四半期における売上高は前年同期比23.4%減の82,359百万円、営業利益は前年同期比46.3%減の4,125百万円、経常利益は前年同期比41.8%減の4,815百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比37.8%減の3,641百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりとなります。

2. セグメントの業績

(1) 物流事業

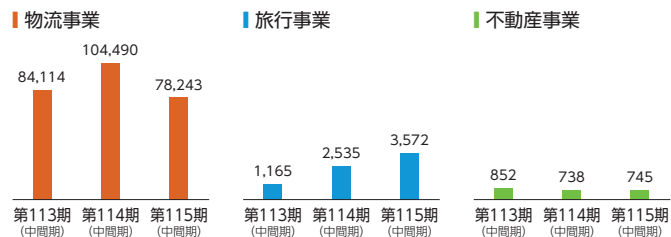
[日本]

航空輸出では、北米等での在庫調整の影響もあり、取扱いは伸び悩みましたが、輸入では、アパレル、食品等が堅調に推移しました。海上輸出では、機械・設備等の取り扱いが堅調となり、輸入は機械、雑貨等が好調に推移しました。

[アジア]

アジアでは、フィリピンにおいては自動車部品の海上輸出が堅調に推移し、ベトナムでは、雑貨等の取り扱いが堅調に推移しました。タイにおいて内需低迷の影響もあり、取り扱い物量が減少するなど、アジア全体では自動車関連貨物の取り扱いが伸び悩み、低調に推移しました。

事業別売上高 (百万円)



[中国]

中国では、景気減速の影響等もあり、上海、香港において海上・航空貨物の取り扱いが低調となったことに加え、価格競争の激化等により収益力が低下しました。常熟で、海上輸出コンテナや航空輸出のスポット貨物の取り扱いが収益に寄与しました。

[米州]

米州では、米国、カナダにおいて自動車関連貨物の取り扱いが堅調に推移しました。米国では、航空輸出での食品関連の取り扱いが収益に寄与し、カナダにおいても海上輸送による食品等の取り扱いが好調に推移しました。メキシコでは自動車関連貨物の取り扱いが低調となりました。

[欧州]

欧州では、ドイツで家電製品や自動車関連貨物の取り扱いが伸び悩みとなるなど全般的に低調な取り扱いで推移しましたが、ポーランドにおいて倉庫事業が堅調に推移したほか、ベルギーでは医薬品関連の取り扱いが堅調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比25.1%減の78,243百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比52.7%減の3,466百万円となりました。

(2) 旅行事業
 主力業務である業務渡航の取り扱いが緩やかながらも回復基調で推移し、団体旅行の取り扱いが収益に貢献しました。

この結果、売上高は前年同期比40.9%増の3,572百万円、セグメント利益（営業利益）は260百万円（前年同期セグメント損失（営業損失）66百万円）となりました。

(3) 不動産事業

管理費等のコスト上昇があったものの、京浜地区等における賃貸不動産が収益に寄与しました。

この結果、売上高は前年同期比1.1%増の745百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比1.3%減の392百万円となりました。

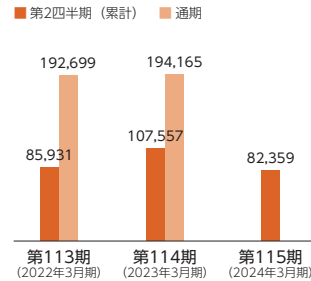
通期の連結業績見通しは、次のとおりです。

連結業績見通し

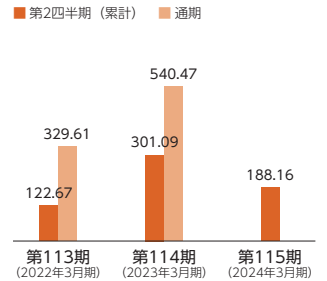
売上高	165,000百万円 (前期比15.0%減)
営業利益	8,500百万円 (前期比32.8%減)
経常利益	9,300百万円 (前期比31.8%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	7,000百万円 (前期比33.5%減)

営業成績および財産の状況の推移（連結）

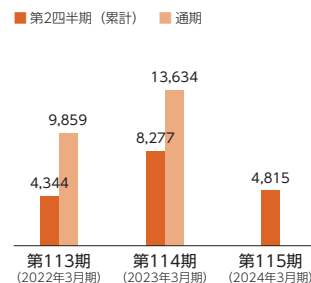
売上高 (百万円)



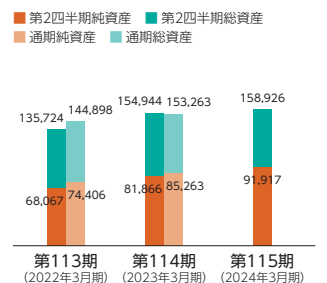
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)



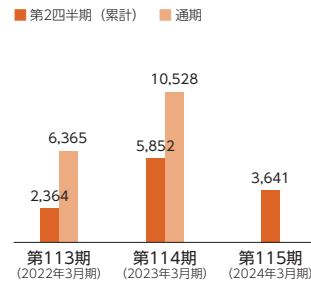
経常利益 (百万円)



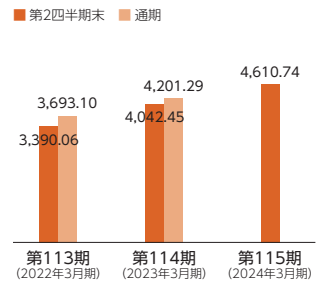
総資産・純資産 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



より詳細なデータについては

▶ <https://www.nissin-tw.com/ir/>

